

プラノプロフェン 75mg 錠

溶出試験 本品 1 個をとり，試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 30 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液 5mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) を加えて正確に 20mL とし，試料溶液とする．別にプラノプロフェン標準品を酸化リン (V) を乾燥剤として 4 時間減圧乾燥し，その約 0.04g を精密に量り，メタノールに溶かし，正確に 100mL とする．この液 5mL を正確に量り，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) を加えて正確に 100mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液 (1 2) を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 275nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 30 分間の溶出率が 85% 以上のときは適合とする．

プラノプロフェン ($C_{15}H_{13}NO_3$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 180$$

W_S : プラノプロフェン標準品の量 (mg)

C : 1 錠中のプラノプロフェン ($C_{15}H_{13}NO_3$) の表示量 (mg)

プラノプロフェン標準品 プラノプロフェン (日局)．ただし，乾燥したものを定量するとき，プラノプロフェン ($C_{15}H_{13}NO_3$) 99.0% 以上を含むもの．